



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場会社名 株式会社ニッピ 上場取引所 大
 コード番号 7932 URL <http://www.nippi-inc.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)伊藤 隆男
 問合せ先責任者 (役職名)総務担当常務取締役 (氏名)吉原 道博 (TEL)03(3888)6651
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	20,104	4.6	1,336	△7.8	1,040	△10.5	644	19.6
23年3月期第2四半期	19,229	1.4	1,449	28.1	1,162	44.1	538	2.4

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 550百万円(9.3%) 23年3月期第2四半期 503百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	57 10	—
23年3月期第2四半期	47 71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	60,470	16,035	25.9
23年3月期	60,590	15,642	25.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 15,640百万円 23年3月期 15,255百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0 00	—	7 00	7 00
24年3月期	—	0 00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7 00	7 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,800	4.2	2,300	3.8	1,600	△4.3	900	28.1	79 77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (日皮胶原蛋白(唐山)有限公司)、除外 1社 ()

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	12,000,000株	23年3月期	12,000,000株
24年3月期2Q	717,204株	23年3月期	717,199株
24年3月期2Q	11,282,800株	23年3月期2Q	11,284,187株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間に於ける我が国経済は、東日本大震災による社会的混乱にやや落ち着きも見えてきましたが、電力の供給不安やギリシャから拡大しているユーロ不安による円高傾向など先行きの見通しが立てにくい状態で推移いたしました。

このような経済情勢におきまして、当社グループは、東日本大震災による生産設備等への直接的な被害もなく、比較的順調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ875百万円増加し、20,104百万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。

売上総利益は、261百万円増加し、4,899百万円（同5.6%増）となったものの、広告宣伝費や減価償却費の増加により営業利益は、113百万円減少し、1,336百万円（同7.8%減）となり、経常利益は、122百万円減少し、1,040百万円（同10.5%減）となりました。

なお、災害義援金などの特別損失の計上及び税金費用の調整をしたことにより四半期純利益は、644百万円（同19.6%増）となりました。

セグメントの状況につきましては以下の通りであります。

① コラーゲン・ケーシング事業

コラーゲン・ケーシングの輸出部門は、福島第一原子力発電所の事故後の規制への対応などにより遅れていた出荷がほぼ解消してきました。また、国内部門は原材料価格が上昇傾向にあります。世界的な天然腸の品薄状態もあり、ほぼ順調に推移しました。

この結果、売上高は、4,215百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は、885百万円（同7.7%減）となりました。

② ゼラチン関連事業

ペプタイドは、健康食品用の需要拡大により順調に推移しました。ゼラチンは、写真用が引き続き低迷いたしました。円高による原価低減効果もあり、食品用とカプセル用が堅調に推移しました。

この結果、売上高は、4,512百万円（同1.6%増）、営業利益は、459百万円（同20.3%増）となりました。

③ 化粧品関連事業

コラーゲン化粧品は、積極的な販売広告活動により新規顧客の開拓を積極的に進め、コラーゲン化粧品及び「コラーゲン100」を中心とした健康食品がともに増加しました。

この結果、売上高は、2,258百万円（同9.6%増）、営業利益は、431百万円（同3.3%減）となりました。

④ 皮革関連事業

自動車用革は、東日本大震災の影響によって売上は減少しましたが、靴用革は、紳士・婦人靴の国内消費が伸長しました。

この結果、売上高は、5,166百万円（同6.9%増）、営業利益は、157百万円（同67.0%増）となりました。

⑤ 賃貸・不動産事業

賃貸・不動産部門は、再開発を進めている東京都足立区及び大阪市浪速区の土地で引き続き暫定事業として賃貸事業を継続しております。

この結果、売上高は、221百万円（同6.0%減）、営業利益は、101百万円（同22.9%減）となりました。

⑥ 食品その他事業

有機農産物、肥料の売上は、夏場の電力不足の対応策として納品の前倒しが多く発生したことにより増加しました。また、イタリア食材もユーロ安による原価低減効果により好調に推移しました。一方、リンカー、化成品、BSE検査キットは、ほぼ横ばいとなりました。

この結果、売上高は、3,730百万円（同10.9%増）、営業利益は、130百万円（同63.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は60,470百万円となり、前連結会計年度末と比べ120百万円の減少となりました。

① 資産の部

流動資産は、現金及び預金、未収入金の減少などにより、前連結会計年度末と比べ463百万円減少し、17,941百万円となりました。

固定資産は、東京都足立区の土地再開発及び新たに中国に設立した日皮胶原蛋白(唐山)有限公司を連結対象会社としたことなどにより、有形固定資産が1,522百万円、無形固定資産が102百万円増加しました。また、同社に対する出資金等を相殺消去したことなどにより投資その他資産が1,355百万円減少し、前連結会計年度末と比べて270百万円増加し、42,422百万円となりました。

② 負債の部

流動負債は、東京都足立区の土地再開発等による設備関係支払手形や建設未払金が減少しましたが、短期借入金などの増加により前連結会計年度末と比べ44百万円減少し、21,308百万円となりました。

固定負債は、預かり保証金等を返却しましたが、長期借入金が増加したことにより、前連結会計年度末と比べ468百万円減少し、23,126百万円となりました。

③ 純資産の部

純資産は、利益剰余金、少数株主持分が増加しましたが、有価証券評価差額金、繰延ヘッジ損益、為替換算調整勘定が減少し、前連結会計年度末と比べ392百万円増加し、16,035百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年11月2日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、開業した日皮胶原蛋白(唐山)有限公司を連結の範囲に含めておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,004	3,272
受取手形及び売掛金	7,500	8,236
商品及び製品	4,390	4,171
仕掛品	807	1,036
原材料及び貯蔵品	324	319
未収還付法人税等	3	2
未収消費税等	192	101
繰延税金資産	489	418
その他	741	425
貸倒引当金	△50	△42
流動資産合計	18,404	17,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,903	7,675
機械装置及び運搬具(純額)	353	701
土地	24,943	24,943
建設仮勘定	4,737	5,174
リース資産(純額)	188	167
その他(純額)	152	139
有形固定資産合計	37,279	38,802
無形固定資産		
リース資産	56	59
その他	4	104
無形固定資産合計	61	164
投資その他の資産		
投資有価証券	2,770	2,773
長期貸付金	731	303
繰延税金資産	49	27
破産更生債権等	1,452	1,439
その他	1,345	462
投資損失引当金	△27	△37
貸倒引当金	△1,511	△1,513
投資その他の資産合計	4,810	3,455
固定資産合計	42,152	42,422
繰延資産	33	105
資産合計	60,590	60,470

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,047	6,968
短期借入金	9,460	10,627
1年内償還予定の社債	475	585
リース債務	62	65
未払法人税等	159	202
未払消費税等	21	67
賞与引当金	388	401
役員賞与引当金	47	54
繰延税金負債	0	—
その他	3,688	2,335
流動負債合計	21,353	21,308
固定負債		
社債	1,125	1,602
長期借入金	10,360	11,069
リース債務	194	173
退職給付引当金	1,707	1,723
役員退職慰労引当金	322	355
長期末払金	1,973	1,823
再評価に係る繰延税金負債	5,454	5,454
繰延税金負債	675	676
資産除去債務	5	5
その他	1,775	241
固定負債合計	23,594	23,126
負債合計	44,947	44,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500	3,500
資本剰余金	1,153	1,153
利益剰余金	3,337	3,895
自己株式	△224	△224
株主資本合計	7,765	8,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△158	△210
繰延ヘッジ損益	△4	△56
土地再評価差額金	7,656	7,656
為替換算調整勘定	△4	△72
その他の包括利益累計額合計	7,489	7,317
少数株主持分	387	394
純資産合計	15,642	16,035
負債純資産合計	60,590	60,470

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	19,229	20,104
売上原価	14,590	15,204
売上総利益	4,638	4,899
販売費及び一般管理費	3,188	3,563
営業利益	1,449	1,336
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	32	27
持分法による投資利益	6	55
その他	15	17
営業外収益合計	58	103
営業外費用		
支払利息	278	303
手形売却損	17	16
為替差損	10	35
開業費償却	—	10
その他	38	31
営業外費用合計	344	398
経常利益	1,162	1,040
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	37	—
会員権売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	13	—
特別利益合計	52	—
特別損失		
固定資産除却損	4	2
固定資産売却損	0	—
投資有価証券売却損	0	0
投資有価証券評価損	237	—
貸倒損失	1	—
投資損失引当金繰入額	—	9
役員退職慰労金	14	9
土地開発関連費用	87	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1	—
災害による損失	—	37
その他	—	4
特別損失合計	346	63
税金等調整前四半期純利益	868	977
法人税、住民税及び事業税	128	169
法人税等調整額	185	139
法人税等合計	314	309
少数株主損益調整前四半期純利益	554	668
少数株主利益	15	24
四半期純利益	538	644

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	554	668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	△92
繰延ヘッジ損益	△43	△67
為替換算調整勘定	△7	1
持分法適用会社に対する持分相当額	3	39
その他の包括利益合計	△50	△118
四半期包括利益	503	550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	499	542
少数株主に係る四半期包括利益	4	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	868	977
減価償却費	292	476
繰延資産償却額	2	15
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	13
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	2	6
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△9	15
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	12	33
投資損失引当金の増減額(△は減少)	—	9
受取利息及び受取配当金	△36	△31
支払利息	278	303
為替差損益(△は益)	△2	—
持分法による投資損益(△は益)	△6	△55
有形固定資産除却損	4	2
有形固定資産売却損益(△は益)	0	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△37	0
投資有価証券評価損益(△は益)	237	—
会員権売却損益(△は益)	△0	—
土地開発関連費用	87	—
貸倒損失	1	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1	—
その他の特別損益(△は益)	—	4
売上債権の増減額(△は増加)	△732	△735
たな卸資産の増減額(△は増加)	39	△8
仕入債務の増減額(△は減少)	6	△72
未払消費税等の増減額(△は減少)	17	218
その他の資産の増減額(△は増加)	△54	△802
その他の負債の増減額(△は減少)	120	734
小計	1,082	1,100
利息及び配当金の受取額	34	35
利息の支払額	△278	△275
法人税等の支払額	△133	△148
営業活動によるキャッシュ・フロー	704	712

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	88	1
有形固定資産の取得による支出	△1,060	△2,845
有形固定資産の売却による収入	8	—
貸付けによる支出	△448	△2
貸付金の回収による収入	26	32
預り保証金の返還による支出	—	△1,575
その他	△388	57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,775	△4,333
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,046	392
長期借入れによる収入	2,860	4,557
長期借入金の返済による支出	△2,573	△3,074
社債の発行による収入	—	780
社債の償還による支出	△377	△212
リース債務の返済による支出	△13	△32
長期未払金の返済による支出	△10	△90
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△83	△83
少数株主への配当金の支払額	△4	△2
その他の収入	—	297
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,250	2,531
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	361
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,327	△731
現金及び現金同等物の期首残高	5,907	3,841
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,580	3,109

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

該当事項はありません。